

向きを合わせよう

Q.

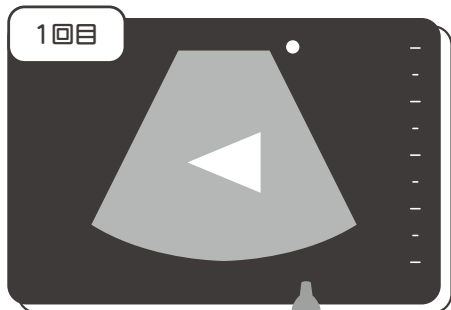
円錐キューブに2回プローブを当てました。

1回目と2回目で画像の向きが反転してしまいました。

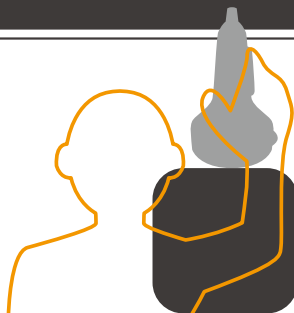
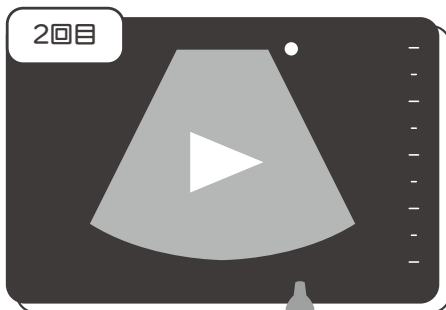
中の円錐はどのように入っているでしょうか？

abcの中から選びましょう。

1回目



2回目



a.



b.



c.



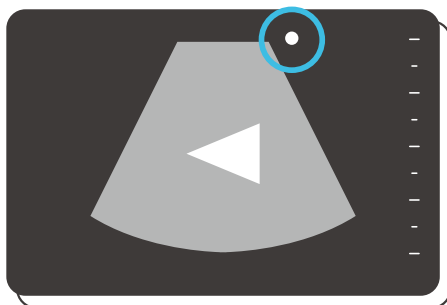
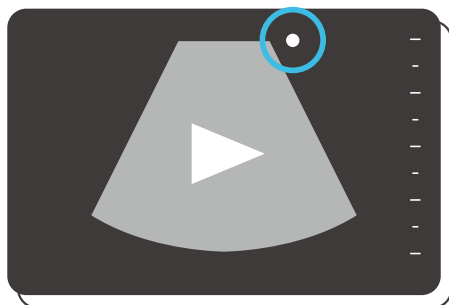
向きを合わせよう

A-1.



正解はaです。

画面とプローブのマークの向きを合わせることで、
立体の向きを理解できます。
必ず合わせるようにしましょう。



○がプローブマーク



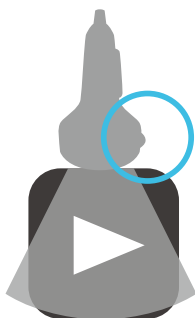
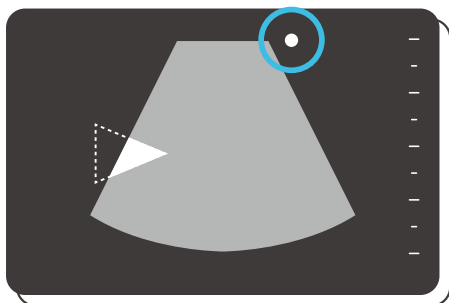
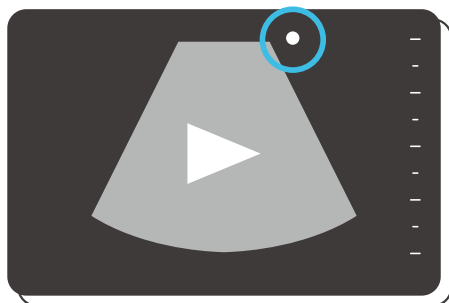
画面の右側にマークがある場合、
プローブのマークも右側になるように持ちましょう
反対に持ってしまうと、画像が反転します。

向きを合わせよう

A-2.

実際にキューブで試みましょう。
プローブを当て、左右にスライドさせて
画面の映り方を確認しましょう。

正しい持ち方



○がプローブマーク



1. 画面とプローブのマークを合わせましょう
2. 円錐が中央に来るようにプローブを当てましょう
3. 右側にスライドさせると画像も右側に移動します

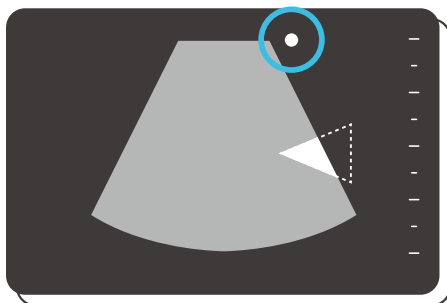
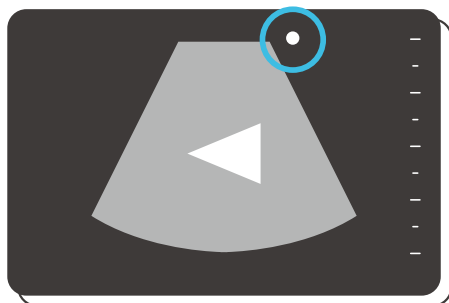
向きを合わせよう

A-3.

間違った向きでキューブで試みましょう。

プローブを当て、左右にスライドさせて
画面の映り方を確認しましょう。

間違った持ち方



○がプローブマーク

※プローブマークが逆向き



プローブの向きが逆になると、画像が反転します。

そしてプローブを右側に移動したときに、
画面は反対方向に動きます。

確認したいものを画面中央に映すのが難しくなりますので、
プローブマークは必ず合わせましょう。

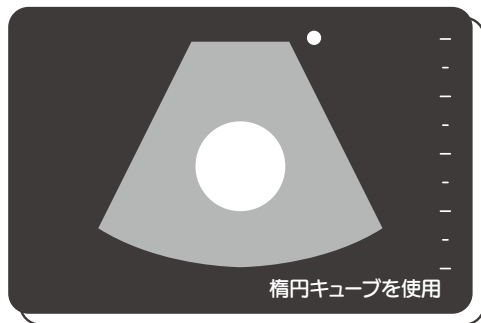
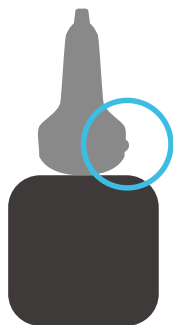
まずは練習

大きさを 測定しよう

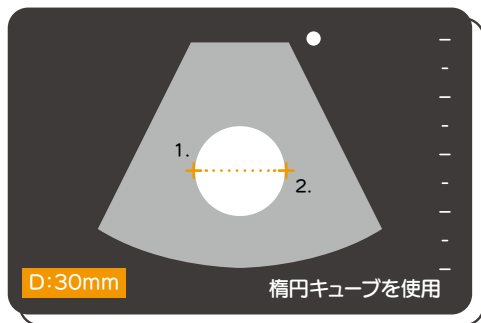
楕円キューブを用意しましょう。

1. 画面の中央で円が**一番大きく見えるところ**でフリーズしましょう。
2. 測定ボタン(キャリパ、measure)を押し、
円の縁を2カ所を選択しましょう。
画面内に測定した距離が表示されます。

1.



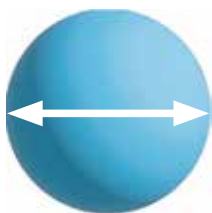
2.



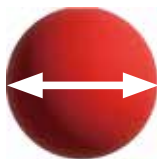
大きさを 測定しよう

Q.

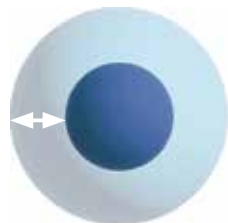
立体の大きさを測定してみましょう。



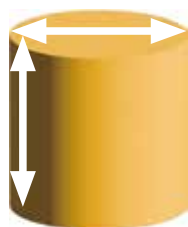
直径



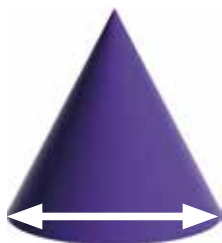
直径



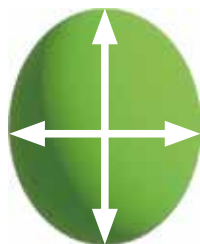
外側の厚み



高さ
底面の直径



母線の長さ
底面の直径

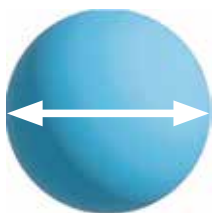


長軸の長さ
短軸の長さ

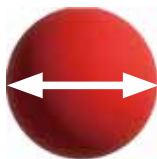
大きさを 測定しよう

A.

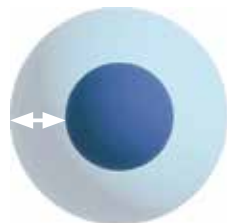
答え(±0.3cm程度の誤差が生じることがあります)



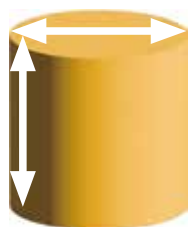
直径 3.0cm



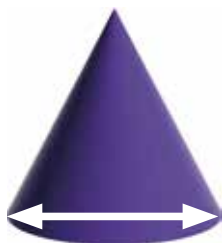
直径 2.0cm



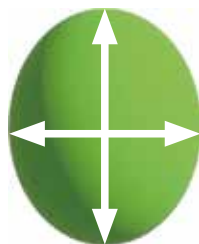
外側の厚み 0.5cm



高さ 3.0cm
底面の直径 3.0cm



母線の長さ 3.3cm
底面の直径 3.0cm



長軸の長さ 4.5cm
短軸の長さ 3.0cm